

議 事 録

会 議 名	第 5 2 回 宇都宮市環境審議会 議事録
開催日時	令和 7 年 1 1 月 2 1 日 (金) 午前 1 0 時 3 0 分 ～ 午前 1 1 時 4 0 分
開催場所	宇都宮市役所 本庁舎 1 4 階 1 4 大会議室
出席委員	大久保順也委員, 小倉久美委員, 菅原一浩委員, 保坂栄次委員, 横尾昇剛委員 (会長), 加藤彰委員, 高梨弘幸委員, 半田光隆委員, 篠崎務委員, 小牧裕昭委員, 小金澤頼子委員, 大森幹夫委員
欠席委員	森嶋佳織委員, 北浦さおり委員, 田代昌継委員, 増淵弘子委員, 小林紀夫委員, 稲垣広己委員, 稲見正雄委員, 西口璃空委員
事務局 出席者	環境部長, 環境部次長, 環境部副参事, 環境創造課長, カーボンニュートラル推進室長, 環境保全課長, 廃棄物政策課長, ごみ減量課長, 廃棄物施設課長, 環境創造課長補佐, 環境保全課長補佐, 環境創造課職員 7 名, カーボンニュートラル推進室職員 1 名, 環境保全課職員 2 名, 廃棄物政策課職員 1 名
公開・非公開	公開
傍聴者・記者	傍聴者 0 名, 記者 1 名
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 次宇都宮市環境基本計画の骨子 (案) について ・ 第 2 次うつのみや生きものつながりプランの骨子 (案) について 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務連絡 4 閉会

発言要旨

委員

【第 4 次宇都宮市環境基本計画の骨子 (案) について】

宇都宮市は温室効果ガス排出量の削減目標として、2030 年度までに 2013 年度比で 50%の削減を掲げている。これは大変重要な部分であると思うが、今回の骨子案には削減目標に関する記載がない。記載をしなくて良いのか。

事務局

P 4 の計画の位置づけに記載のとおり、個別計画である「宇都宮市地球温暖化対策実行計画」や「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」等で 2030 年度までに温室効果ガス排出量を 50%削減するという目標が組み込まれている。今回の骨子案には目標数値の記載はないが、事務局としても重要な目標であると認識している。

委員

2030 年度までに 50%削減という具体的な目標値が出ているため、計画を策定するうえで重要視してほしい。

会長	<p>ロードマップや地球温暖化対策実行計画等において、温室効果ガス排出量の削減目標が定められているとのことであるが、環境基本計画を見た人が、各個別計画において温室効果ガス排出量の削減目標について詳しく定めているということがわかるような記載があると良いと思う。</p>
委員	<p>P 9の目指す環境未来都市の姿において、脱炭素・資源循環・自然共生の記載があるが、これらの取組についても具体的な数値についても記載をするべきだと思う。</p> <p>例えば、2030年度までに温室効果ガス排出量を50%削減するという目標を実現させるために、年間でどのくらいの温室効果ガス排出量を削減する必要があるかなど、市民が次期計画を見て、循環共生型社会を実現することがどのような事なのかわかりやすく示してほしい。</p>
事務局	<p>資源循環・自然共生についても各個別計画で数値目標を持っている。また、例年、年度末の環境審議会において、施策に関する取組実績や削減状況について報告を行っている。</p> <p>本日の審議会の議事である骨子の趣旨は、具体的な数値を提示することではなく、そのひとつ前の段階として、ウェルビーイングの実現を目指すにあたっての基本となる方針について協議いただく部分である。次回の素案に関する審議会において指標等の数値目標についてご審議いただきたいと思う。</p>
事務局	<p>補足説明になるが、P 11の推進方針に記載のとおり、次期計画では新たに指標を定める予定であり、具体的な数値目標を設ける予定である。</p>
会長	<p>温室効果ガス排出量を2030年度までに50%削減するという目標は、非常に高い目標である。環境基本計画において目標を明確に定め、達成することの重要性が高いというメッセージを計画に落とし込むことは大切であると考え。</p>
委員	<p>P 14の栃木県環境総合計画の「サーキュラエコノミー」のなかで「7Rの促進」という施策があるが、市民にとっては新しい言葉に思える。様々な検討を経て、7Rという考えになったのだと思うが、宇都宮市の環境基本計画においては、市民になじみが深く、取り組みやすい、3Rの推進を優先してほしい。</p>
事務局	<p>7Rについては庁内でも意見があったところであるが、今までの取組の中で市民の方々と一緒に3Rを実施してきたこととあり、現段階では、引き続き3Rの推進について働きかけていきたいと考えている。</p>
委員	<p>P 8の「ウェルビーイングが実感できる持続可能なまち」について、宇都宮市では緑被率が向上し、空気のきれいさにも問題が無い一方で、市民アンケート調査の結果では満足度は低く、乖離している状況である。このことについて事務局はどのように考えているか。</p>
事務局	<p>生活環境については、水質や大気など様々な調査を行い特に問題ない結果が出ており、その結果を市民に伝え、知っていただくことが重要であると考えている。今後、市民への周知のという観点でも力を入れていきたい。</p>

会長	<p>別紙1の施策体系対照表は非常にわかりやすいと思う。大項目の文言が変わったことで、カーボンニュートラルという言葉が加わり、宇都宮市の積極性についても目に見えてわかりやすい。</p> <p>しかし、低炭素から脱炭素に変わったことも踏まえると、温室効果ガス排出量を2030年度までに50%削減することについて、もう少し力強く表現ができるかとさらに良いと思う。この目標が市民に伝わることで、宇都宮市が環境意識の高い都市であるところが広がるし、事業者との連携が増えるきっかけになると思う。</p>
委員	<p>前回の審議会で、市と県の計画の整合性を資料でわかりやすいように組み込むように依頼をしたが、資料に記載があり良いと思う。</p> <p>しかし、国と県の計画の関連性がわかりにくいように感じる。二つがどのように関連し、異なっているのか、市民に分かりやすく表現した方が良いと思う。</p>
事務局	<p>ご発言のとおり、国や県との関連性は記載するべきであると思う。計画の位置づけについてなど、国と県と関わりが深い部分については、できる限り記載するよう検討する。</p>
委員	<p>P8の目指す環境未来都市の姿において、現行計画で「脱炭素社会を実現したスマートなコンパクトシティ」とあり、次期計画ではその記載が「ウェルビーイングが実感できる持続可能なまち」になっている。個人的には、スマートなコンパクトシティというのは宇都宮市特有の良さがあると感じていた。このことについて事務局はどう考えているのか。</p>
事務局	<p>「スマートなコンパクトシティ」は市のまちづくりには欠かせない要素であることは理解している。国の環境基本計画において、「ウェルビーイング」を最上位計画として掲げていることを受け、次期計画の環境未来都市の姿には、ウェルビーイングを軸とした文言に修正したところである。</p> <p>ただし、ネットワーク型コンパクトシティも重要と考えており、P10の推進方針の「まちの育み」の視点に反映している。</p>
委員	<p>P10の推進方針の「まちの育み」のなかに、「環境にやさしいまちづくり」とあるが、温室効果ガス排出量削減のためには公共交通の利用促進が考えられる。</p> <p>今後、LRTは西側にも通るようになるが、実現した際にどの程度の削減効果を期待できるのかというような、数値を提示してほしい。車から公共交通への変換を見越して、排出量の推移を市民がわかるようにしていくべきだと考える。</p>
事務局	<p>温室効果ガス排出量の推移などは地球温暖化対策実行計画等で記載しているところであるが、環境基本計画においても、将来像として記載できるよう検討していく。</p>
会長	<p>【第2次うつのみや生きものつながりプランの骨子(案)について】</p> <p>資料1の、ネイチャーポジティブとうつのみや生きものつながりプランのところで、関係があるということか。</p>

事務局	ご発言のとおりである。環境基本計画にうつのみや生きものつながりプランについても含めるようにし、今後、整合を図っていく予定である。
委員	ネイチャーポジティブの実現へ向け、市民団体や事業者のほかに、環境に関する研究を行っている大学とも連携を取るべきと考える。
事務局	第2次プラン策定にあたっては、大学関係者からも意見を聴取するなど、連携を図りながら進めているところである。
委員	うつのみや生きものつながりプランについても、数値的なことがどこにも記載されていないが、環境基本計画のように、どこかに定められているものであるのか。
事務局	うつのみや生きものつながりプランにおいては、別の計画などはなく、今後、素案にて数値目標を定める予定である。
会長	指標として具体的な数値は確かに必要である。また、この時代の激しい変化に対応できる柔軟な指標であることも大切であると思う。
委員	P28の参考資料である、主な施策事業（案）について、新規の事業で記載のある、「自然共生サイトの認定に向けた支援」とはどのようなものなのか。
事務局	「2030年までに陸・海の30%を保全する目標」に向けた国の制度があり、企業や市民団体等が行う環境保全活動を国が認定し、その活動区域がいわゆる「自然共生サイト」となる。宇都宮市としては、本制度の周知や認定手続きの支援などを行うものである。
	【全体的な意見】
委員	基本計画の内容はとても良いと思う。しかし、宇都宮市としての個性をさらに出すために、スポーツと環境対策での連携、繋がりをアピールしても良いのではないのか。
事務局	計画の施策ではないが、スポーツとの連携としては、今年度、宇都宮ライトパワー(株)の地域還元事業としてジャパンカップサイクルロードレースと連携を行った。 スポーツと連携した取組を次期計画に入れられるかは、今後検討する。
会長	「宇都宮市の個性」は重要な考えだと思う。もったいない運動などの「宇都宮市らしさ」・「市独自の個性」を基本計画に盛り込み、アピールすることで、環境の好循環につながるかもしれない。
	【その他】
事務局	本日の議事録につきましては、事務局で作成したものを皆様に確認依頼させていただく。 次回の審議会は12月下旬頃を予定しており、内容は計画の素案となる。詳しい日時などは、後日ご連絡する。